

陸奥国北部の様相

奥州市教育委員会

高橋千晶

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 村田 淳

はじめに

岩手県は東北地方 6 県で最も施釉陶磁器の出土遺跡が多く、特に鎮守府である胆沢城跡では 557 点出土しており、これは国府多賀城跡に次ぐ。本稿前半では高橋が胆沢城跡、後半では村田が他の城柵遺跡及び伯済寺遺跡を含む集落遺跡について分析した。

なお、本稿での時期区分は、A 期を 9 世紀前半（猿投窯黒笛 14 号窯式併行期）、B 期を 9 世紀後半（黒笛 90 号窯式併行期）、C 期を 10 世紀前半（折戸 53 号窯式併行期）、D 期を 10 世紀後半～11 世紀（東山 72 号窯式～百代寺窯式併行期）とし、二つの時期に跨るものは B-C 期等と表記した。

1. 胆沢城跡出土施釉陶磁器の概要

村田による施釉陶磁器の出土地点分析によれば、城内でも政庁域の施釉陶器は北辺区画で出土した緑釉陰刻花文塊 1 点のみで、東方官衙南地区の施釉陶磁器の出土は圧倒的であるという。このため、胆沢城内では施釉陶磁器は政庁ではなく、東方官衙南地区を中心とした範囲で使用されたと考えられている（第 1 図、村田 2017）。以下では、政庁南東に位置する東方官衙南地区の様相を中心に分析を行う。

（1）出土数と出土状況

東方官衙南地区出土の施釉陶磁器数は、緑釉陶器 343 点、灰釉陶器 192 点、輸入陶磁器 22 点、計 557 点で（第 1 表）、緑釉陶器が 62% を占める。輸入陶磁器は白磁と比較して青磁が多い。これに対し外郭南門地区の出土施釉陶器数は計 50 点で、灰釉陶器が 32 点（64%）を占める。

地区毎に出土量が異なる状況は、既に多賀城跡で指摘されており（高橋 2020）、東方官衙南地区の様相は饗宴に関わる施設の存在が想定されている多賀城跡の正門・五万崎地区の様相に類似する。

また 100 m²あたりの破片数は、外郭南門地区では

1 点未満であるのに対し、南地区合計では 15.07 点と高い数値を示す。東方官衙南地区では、饗宴や祭祀に関わる施設の存在が想定され、施釉陶磁器の使用と廃棄が行われたと考えられる。

（2）器種構成

緑釉陶器では塊・皿類が 314 点（92%）を占め、続いて香炉片 12 点（4%）の出土が目立つ（第 2 表）。灰釉陶器では塊・皿類が 107 点（56%）、次いで壺・瓶類が 77 点（40%）を占める。

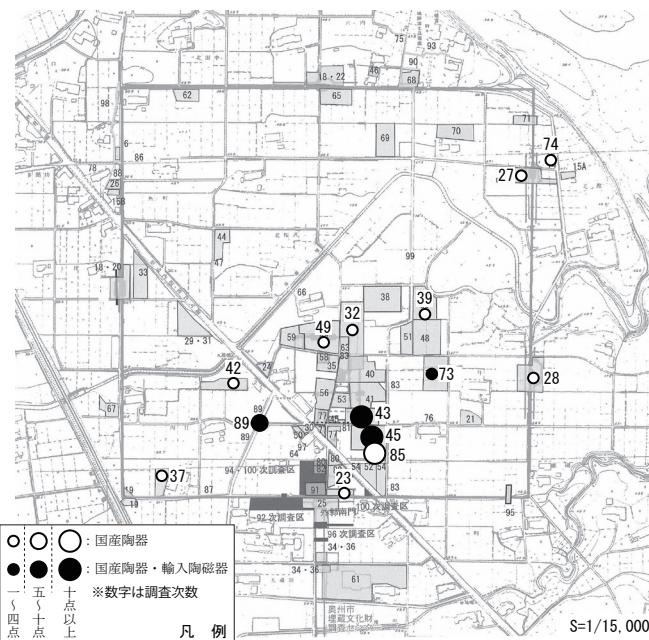
（3）産地と時期

産地分析の結果、緑釉陶器では猿投窯産が主体で、可能性があるものを含め 231 点（68%）を占める。続いて東海西部産が 82 点（24%）を占め、洛北産・洛西産各 6 点（2%）、畿内産 14 点（4%）、近江産 2 点、篠窯産 1 点、不明 1 点である。灰釉陶器では、東濃窯産 117 点（61%）、猿投窯産 56 点（29%）、尾北窯産 18 点（9%）と東濃窯産の出土が目立つ。

また出現時期をみると（第 3 表）、緑釉陶器では A 期 29 点、A-B 期 15 点、B 期 56 点、B-C 期 2 点、C 期 2 点で、B 期に A 期の約 2 倍と最大数になるが、10 世紀代の C 期には激減する。灰釉陶器では、原始灰釉 3 点、A 期 41 点、A-B 期 3 点、B 期 56 点、B-C 期 1 点で、原始灰釉の出土と A 期の出土数の多さが緑釉陶器と比較し目立つものの、緑釉陶器と同様 B 期に出土数が最大となり、それ以降激減する。

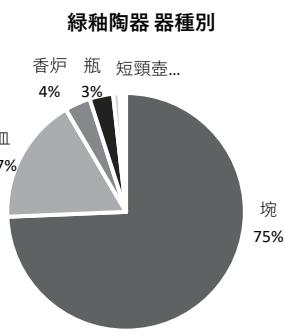
産地の時期毎の様相をみると、緑釉陶器では全ての時期で猿投窯産が主体となる。しかし灰釉陶器は、原始灰釉・A 期・A-B 期には猿投窯産が主体を占めるが、A 期では尾北窯産も猿投窯産の約半数出土、B 期では猿投窯産が減少し東濃窯産が主体を占める状況となるなど、供給先に変化がみられる。

輸入陶磁器は、青磁は越州窯系、白磁は邢窯系製



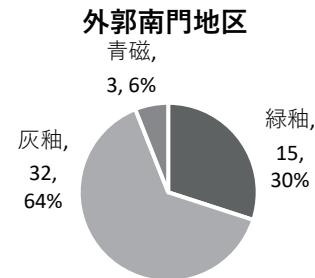
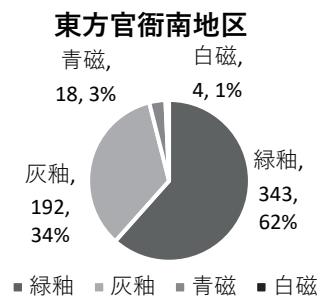
第1図 胆沢城跡施釉陶磁器分布図

塊	248
小塊	7
皿	58
耳皿	1
香炉蓋	8
香炉	4
瓶	8
水注	2
小瓶	1
短頸壺	2
小短頸壺	1
合子	1
盤か鉢	1
不明	1
計	343

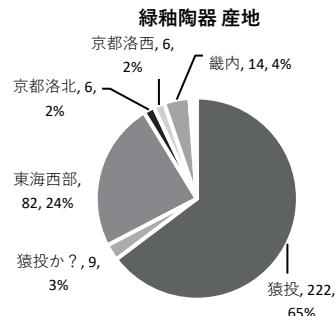


塊	78
小塊	1
皿	26
耳皿	2
塊・鉢	3
大塊	3
瓶	45
長頸壺	19
小瓶	4
平瓶	4
短頸壺	2
手付瓶	2
有耳壺	1
不明	2
計	192

第1表 胆沢城跡施釉陶磁器出土数

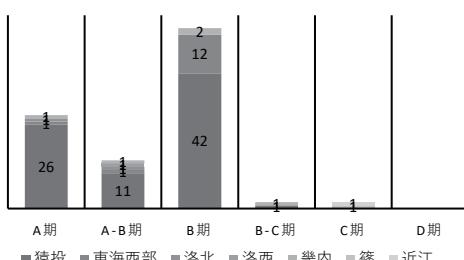


第2表 施釉陶器の器種別割合

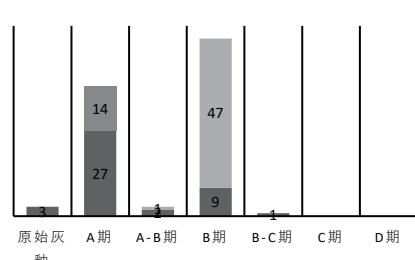


東濃	117
猿投	56
尾北	18
不明	1
小計	192

緑釉陶器 時期 産地別 出土点数



灰釉陶器 時期 産地別 出土点数



第3表 施釉陶器の産地・時期別割合

品であり、10世紀前半代には施釉陶磁器の出土数が激減する状況が反映されている。

2. 志波城跡・徳丹城跡

志波城跡では、政庁南方地区で灰釉陶器塊・蓋各1点、郭内北東部で灰釉陶器蓋1点、外郭北西部で綠釉陶器塊・壺が各1点出土している。官衙域からの出土は無い。

徳丹城跡では、外郭北門地区で灰釉陶器瓶1点、外郭南西地区で越州窯系青磁碗1点が出土している。いずれも外郭線上の区画溝であり、官衙域からの出土は無い。

3. 伯済寺遺跡

胆沢城跡に隣接し、上級官人の居宅と付属工房と想定される遺跡である。遺構としては四面庇付建物を含む掘立柱建物や堅穴建物、遺物としては文字関連遺物・瓦・石帶などが検出されている。

施釉陶磁器の内訳は、綠釉陶器93点、灰釉陶器102点で、輸入陶磁器は出土していない。工房を含む堅穴建物が分布する東地区で綠釉陶器81点(87%)、灰釉陶器77点(75%)と出土量の大部分を占め、大型掘立柱建物や付属建物が分布する西地区からの出土は少ない。

綠釉陶器の器種は、塊・皿類89点(96%)、大塊・瓶類・香炉各1点(各1%)である。産地・時期は、A期の洛北産13点、A-B期の猿投窯産8点、B期後半～C期初頭の猿投窯産68点(綠彩輪花塊・印刻花文塊・皿含む)、B期の東濃窯産3点、D期の近江産1点である。灰釉陶器の器種は、瓶類73点(71%)、塊・皿27点(26%)、蓋2点(2%)である。産地・時期は、A-B期の篠岡産2点、B期後半～C期初頭の猿投窯産97点・東濃窯産3点である。胆沢城跡よりB期後半～C期初頭の猿投窯産の比率が高い。なお、胆沢城跡では綠釉陶器と灰釉陶器の出土比率が異なり、使用方法の相違に伴う種別の選択性を示している可能性がある。

4. 岩手県域の様相(第2図、第4表)

出土遺跡は68遺跡(城柵3・寺院1・集落64)で、令制六郡内に位置する北上川中流域の平野部に集中

し、内陸北部では出土していない。種別毎の遺跡数は、綠釉陶器37、灰釉陶器46、輸入陶磁器7である。なお、沿岸部の4遺跡は報告7で記載する。

堅穴建物からの出土が73軒と最も多く、約半数が付属施設内や床面直上からの出土である。その他、土坑・掘立柱建物(柱穴)・井戸・溝・堀、旧河道や整地層からも出土している。用途が推定できる事例として、土器・陶磁器を一括廃棄した胆沢城跡SK3305、「万燈会」に使用したと考えられる墨書き器や灯明皿と共に二次被熱した綠釉陶器托が出土した奥州市中半入遺跡SD16等がある。

時期別の分布をみると、A・B期は胆沢城跡が流通・使用の中心であり、城柵及び胆沢城跡周辺に集中する。B期には分布域が拡大し、遺跡数及び出土点数が最も多くなる。しかし、C期には胆沢城跡が中心的役割を果たさなくなり、遺跡数は減少し、胆沢城跡でも出土量が激減する。D期には奥州市以南にのみ分布するようになる。なお、平泉町瀬原II遺跡SI08のように遺構内から出土した施釉陶磁器と共伴土器の年代観や自然科学分析等の年代測定結果に時間差があるものがある。

器種はどの種別も塊・皿類が主体であるが、C期以降は灰釉陶器をはじめ瓶類が多くなる。綠釉陶器はB期に手付瓶・唾壺・托・香炉等の器種が増え、塊・皿類でも陰刻花文や綠彩を施した製品も出土している。灰釉陶器は、短頸壺・小瓶・耳皿等が確認されている。輸入陶磁器は胆沢城跡出土の青磁蓋以外は塊・皿類である。産地は、綠釉陶器が猿投窯・東海西部(東濃・篠岡)・京都(楽北・洛西)・篠窯・近江、灰釉陶器が猿投窯・東濃窯・尾北窯である。京都産の綠釉陶器はいずれもA・B期で、胆沢城跡とその周辺に集中する。

城柵や沿岸部の遺跡も含めた主な遺跡内出土遺物の共伴関係は、文字関連(墨書き・刻書き土器、硯)44遺跡(以下「遺跡」省略)、農工具40、金属生産関連(鉄滓・羽口・坩堝)32、武器27、土錘19、土製紡錘車11、瓦9、石帶6、製塩土器4等である。金属生産関連と鉄製品は、灰釉陶器出土遺跡での共

伴率が緑釉陶器・輸入陶磁器よりも高い。また、律令系遺物（瓦・石帶）との共伴率が高いほか、土製紡錘車や土錐、製塩土器といった生産・生業関連遺物の共伴率が高い点も注目される。

参考文献

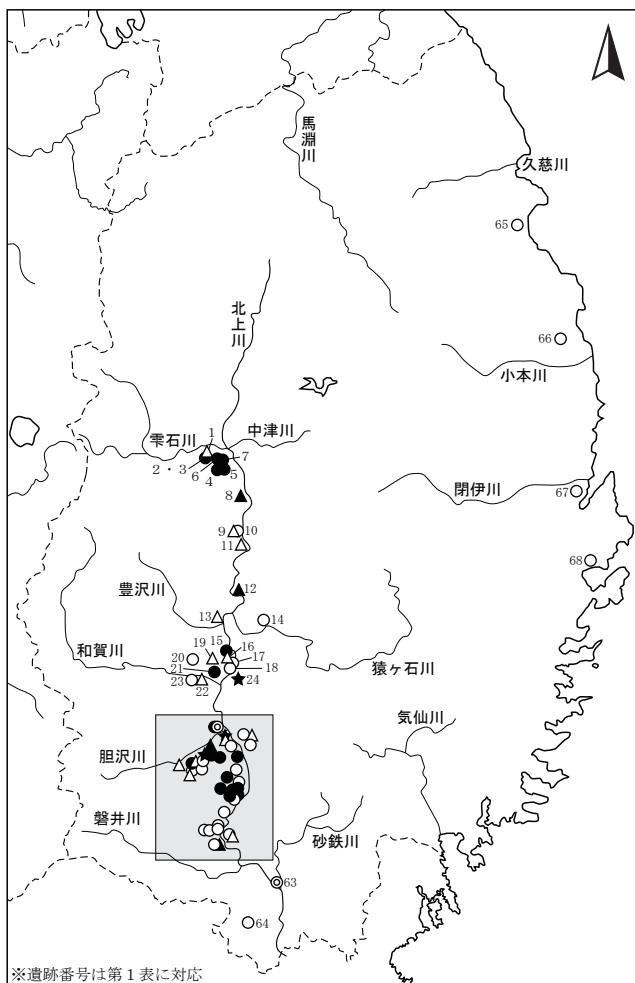
伊藤博幸ほか 1984 「胆沢城東方官衙南地区出土の施釉陶器」

『考古学雑誌』第70巻第1号

高橋 透 2020 「多賀城施釉陶磁器」『宮城県多賀城跡調査研究所資料V』

村田 淳 2016 「東北地方北部の施釉陶磁器」『第II分科会 北東北9・10世紀社会の変動 研究報告資料集』

日本考古学協会 2016 年度弘前大会実行委員会



第2図 岩手県施釉陶磁器出土遺跡分布図

村田 淳 2017 「東北地方北部出土の施釉陶磁器—城柵遺跡における性格の検討」『紀要』第36号
岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

No.	遺跡名	所在地	器種・点数	産地・時期	出土遺構
1	志波城跡	盛岡市	緑釉 塚1・壺1 灰釉 塚1・蓋2	猿投? A-B期	堅穴建物
2	田貝	盛岡市	緑釉 塚2	不明	堅穴建物
3	竹花前	盛岡市	緑釉 盆1		堅穴建物
4	下羽場	盛岡市	緑釉 陰刻花文皿1	猿投 B期	遺構外
5	大島	盛岡市	緑釉 盆1	猿投 A期	遺構外
6	本宮熊堂B	盛岡市	緑釉 塚1	不明	堅穴建物
7	細谷地	盛岡市	緑釉 塚1	猿投 B期	堅穴建物
8	徳丹城跡	矢巾町	灰釉 瓶1 青磁 碗1	猿投 A期 越州 B期	溝
9	比爪館	紫波町	緑釉 塚2	猿投 B期	堅穴建物
10	北条館	紫波町	灰釉 瓶1	猿投 B期	堅穴建物
11	西田東	紫波町	緑釉 盆1 灰釉 塚1	猿投 B期	堅穴建物
12	大西	花巻市	灰釉 塚3 青磁 碗1	猿投 C期 越州 A-B期	堅穴建物・遺構外
13	万丁目	花巻市	緑釉 塚1 灰釉 瓶1	猿投 B-C期	堅穴建物
14	中嶋	花巻市	灰釉 塚1	猿投 B-C期	遺構外
15	秋子沢	北上市	緑釉 塚2	猿投 年代不明	堅穴建物
16	堰向II	北上市	緑釉 塚1 灰釉 瓶1	猿投 B期 東濃 B-C期	堅穴建物・遺構外
17	中村	北上市	灰釉 瓶1	猿投 B期	遺構外
18	千苅	北上市	灰釉 瓶2	猿投 年代不明	溝・遺構外
19	藤沢	北上市	緑釉 陰刻花文皿1 灰釉 盆2	京都? 猿投 B期	堅穴建物
20	新平	北上市	灰釉 瓶1	猿投 B期	遺構外
21	八幡	北上市	緑釉 盆2	京都 B期	遺構外
22	上鬼柳III	北上市	緑釉 塚3 灰釉 塚2	猿投 A-B-C期	堅穴建物・土坑・掘立柱建物・遺構外
23	岩崎台地	北上市	灰釉 塚5	猿投 B期 東濃 B期	堅穴建物
24	国見山庵寺	北上市	緑釉 塚1 灰釉 塚2・皿1・瓶1 白磁 碗1	猿投 B期 邢窯 A-B期	堅穴建物・遺構外
25	西根	金ヶ崎町	青磁 碗1	越州 A-B期	堅穴建物
26	鳥海	金ヶ崎町	緑釉 墓壺1	京都? B期	堅穴建物
27	宮地II	奥州市	灰釉 塚1	東濃 C期	焼土
28	下忽田	奥州市	灰釉 不明1 灰釉 塚3・長頸瓶1	猿投 A期	堅穴建物・溝
29	落合II	奥州市	灰釉 塚1	東濃 D期前半	遺構外
30	胆沢城跡	奥州市	本文記載		
31	伯済寺	奥州市	緑釉 塚皿類54・輪花壇4・ 塚1・段2・輪花皿4・瓶1 灰釉 塚皿類27・塚1・瓶1 66・長頸瓶2・瓶1・蓋2	京都 A期 猿投 A-B-B-C期 邢窯 A-B期 東濃 B-C期 近江 D期前半	堅穴建物・土坑・掘立柱建物・溝・柱穴・扁状遺構・遺構外
32	白井坂I・II	奥州市	灰釉 塚2	猿投 A期	堅穴建物
33	中半入	奥州市	緑釉 塚1・壺3・托1 白磁 碗1	猿投 B期 邢窯 B期	堅穴建物・溝
34	杉の堂	奥州市	緑釉 塚1・陰刻花文壇1	猿投? B期	土坑
35	林前南館	奥州市	灰釉 小瓶1	猿投 B期	堅穴建物
36	下植田	奥州市	灰釉 長頸瓶1(2)・不明1	東濃 B-C期	堅穴建物・不明遺構
37	水ノ口	奥州市	緑釉 塚1	京都? 土坑	
38	寺領	奥州市	緑釉 塚4・棱壇1 灰釉 塚2・瓶2	猿投 B期 東濃 B期	土坑・溝
39	中林下	奥州市	緑釉 塚2・輪花壇1	猿投 B期	堅穴建物・焼土・遺構外
40	石田I・II	奥州市	緑釉 塚1・陰彩壇1	猿投 B期	遺構外
41	沢田	奥州市	灰釉 塚2・皿10 不明1	猿投 B期 東濃 B期	旧河道
42	漆町	奥州市	灰釉 塚1	猿投 B期	堅穴建物・溝
43	作屋敷	奥州市	緑釉 稲塹1・陰刻花文壇1	猿投 B期 東濃 C期	土坑
44	小十文字	奥州市	灰釉 塚1	猿投 A期	堅穴建物
45	石行	奥州市	緑釉 稲塹1	猿投 B期 東濃 B-C期	溝
46	要害	奥州市	灰釉 塚1	猿投 B期?	遺構外
47	堤	奥州市	灰釉 瓶1	猿投 B期	遺構外
48	明神下	奥州市	緑釉 瓶1・大壇1 灰釉 段2	猿投 A-B期	堅穴建物
49	明後沢	奥州市	緑釉 陰刻花文壇1	猿投 B期	堅穴建物
50	古城林	奥州市	緑釉 塚1・棱壇1	猿投 B期	井戸・土取り穴
51	水尻	奥州市	緑釉 塚1	猿投 B期	掘立柱建物
52	田高II	奥州市	灰釉 長頸瓶1(16)	猿投?	大溝・井戸
53	白山上野	奥州市	緑釉 段皿1	猿投?	遺構外
54	大桜	奥州市	灰釉 長頸瓶1	猿投 B期?	堅穴建物
55	接待館	奥州市	灰釉 瓶1	東濃 C期	堀
56	衣の問道	奥州市	灰釉 塚2	東濃 D期前半	遺構外
57	瀬原I	平泉町	灰釉 塚1	猿投 D期後半	旧河道
58	瀬原II	平泉町	灰釉 壺1	東濃 B-C期	堅穴建物・井戸・柱穴・遺構外
59	泉屋	平泉町	緑釉 陰刻花文壇1	猿投 B期	遺構外
60	志羅山	平泉町	灰釉 塚1	東濃 D期前半	井戸
61	本町II	平泉町	灰釉 瓶1・耳皿1	東濃 B-C期	工房
62	佐麻屋敷	平泉町	緑釉 塚2 灰釉 小皿1	東濃 C-D期前半	溝
63	河崎の柵擬定地	一関市	白磁 3	不明 D期後半	堀
64	中村城	一関市	灰釉 瓶1	東濃 C期	旧河道
65	中平	野田村	灰釉 瓶1	猿投 C期	堅穴建物
66	浜岩泉III	田野畠村	灰釉 瓶1	猿投 B-C期	堅穴建物
67	隱里III	宮古市	灰釉 瓶5・長頸瓶1	猿投 B-C期	堅穴建物・火葬関連施設・遺構外
68	間木戸I	山田町	灰釉 塚1	猿投 B期	遺構外

※1:「○-○期」は各時期に比定できるもの、「○-○-○期」は二つの時期に跨るもの

※2:D期のうち、前半は10世紀後半、後半は11世紀代

第4表 岩手県施釉陶磁器出土遺跡一覧